

## 新着本 ご案内



『こんぱるいろ、彼方』

椰月 美智子 / 著  
小学館 (Fヤズキ)

幼い頃にボートピープルとして日本に逃れてきた母・真依子。ベトナムにルーツがあることを初めて知った娘の奈月は、ベトナムへの旅を通して、母親一族の過去と、ベトナムの歴史について知ることになる…。

3世代の視点で描かれる家族の物語。



『花を楽しむ野菜図鑑』

岩槻 秀明 / 著  
いかだ社 (B62イワツ)

かぼちゃ、トマトなど、いつも食べている身近な野菜の花を写真で紹介します。

野菜の育て方から、野菜と果物の違い、花に集まる生きものなどの豆知識も収録。野菜を育てたくなる、子どもから大人まで楽しめるガイドブックです。



『イラスト・写真でよくわかる力の要らない介助術』

福辺 節子 / 監修 ナツメ社 (369イラス)

介助の基礎はもちろん、被介助者の身体状態に合わせた介助術について、入浴や着替えといった場面別に紹介。少しの介助で本人の力を引き出す「力の要らない介助術」や声掛けのコツを、豊富な写真やイラストとともに解説しています。巻末には、介護に関する用語集も掲載されています。

◆ 一般書

◆ 文学・小説

だから古典は面白い 野口 悠紀雄 / 著 幻冬舎 (019ノグチ)	立花三将伝 赤神 諒 / 著 講談社 (Fアカガ)
世界史を動かした脳の病気 小長谷 正明 / 著 幻冬舎 (280コナガ)	迷宮の月 安部 龍太郎 / 著 新潮社 (Fアベリ)
発達障害のあなたが職場で長く働く方法 木津谷 岳 / 著 秀和システム (366キズヤ)	希望のゆくえ 寺地 はるな / 著 新潮社 (Fテラチ)
お墓のことを考えたらこの1冊 石原 豊昭 / 著 自由国民社 (385イシハ)	憂き夜に花を 吉川 永青 / 著 中央公論新社 (Fヨシカ)
虫とゴリラ 養老孟司・山極 寿一 / 著 毎日新聞出版 (469ヨウロ)	道行きや 伊藤 比呂美 / 著 新潮社 (914.6イトウ)
今さら聞けない料理のこつ 有元 葉子 / 著 大和書房 (596アリモ)	サークル・ゲーム マーガレット アトウッド / 著 出口 菜摘 / 訳 彩流社 (931アトウ)
天才の考え方 加藤 一二三・渡辺 明 / 著 中央公論新社 (796カトウ)	焼け跡の高校教師 大城 立裕 / 著 集英社 (PFオオシ)
話し方が上手くなる！声まで良くなる！1日1分朗読 魚住 りえ / 著 東洋経済新報社 (809ウオズ)	文豪芥川教授の殺人講座 前川 裕 / 著 実業之日本社 (PFマエカ)

本の検索・予約など、お気軽にカウンターにお尋ねください。

【特集】

# 珈琲のある暮らし

「〇〇とコーヒー」をテーマにおすすめの本をご紹介します！  
いつものコーヒーブレイクのおともにいかがでしょうか。



パンとコーヒー

『日本一適当なパン教室の夜こねて冷蔵庫でほったらかし朝焼きたてパンレシピ』

Backe 晶子／著 PHP エディターズ・グループ (596アキコ)

材料を混ぜてこねたら、面倒な発酵は冷蔵庫におまかせ。ちぎりパンからおかずパンまで、誰でも、おいしい焼きたてのパンを朝に楽しむことができます。パン作り初心者も時間のない人も、手軽に挑戦できるパンレシピ集です。

『木造駅舎紀行200選』

杉崎 行恭／著 天夢人 (686スギザ)

日本鉄道開業当時に建てられた木造駅舎は、趣はあるが維持が難しく貴重なものとされています。そんな全国各地の木造駅舎より、選りすぐりの200駅を、全景写真と様々な角度から撮影された写真、地域のコラムを交えながら紹介します。

北海道・東北40選には、福島市にある曾根田駅も掲載されています。今日のコーヒーのおともに、そして旅のおともにいかがでしょうか。



旅とコーヒー



贅沢とコーヒー

『こぼこぼ、珈琲』

阿川 佐和子 ほか／著 河出書房新社 (914.6コボコ)

「おいしい文藝」シリーズ第11弾。寺田寅彦や湊かなえなど、古今の作家31人が紡ぐ悲喜こもごもの珈琲談義。作家たちの珈琲との思い出を知ることができます。珈琲を傍らに、贅沢なひとときを味わってみませんか。

『おいしいコーヒーをいれるために』 中川 ちえ／著 メディアファクトリー (596ナカガ)

『15分あれば喫茶店に入りなさい。』 齋藤 孝／著 幻冬舎 (673サイト)

『ラテに感謝！ 転落エリートの私を救った世界最高の仕事』

マイケル・ゲイツ・ギル／著 月沢 李歌子／訳 ダイヤモンド社 (936ギルマ)

# Let's reading! ~Y・A~

～「Y・A（ヤング・アダルト）＝大人でも子どもでもない世代」へおすすめする本～



## 『アドリブ』

佐藤 まどか／著 あすなろ書房(Y913サトウ)

イタリア在住のユージは、母と出掛けたコンサートで聴いたフルートの音色に衝撃を受け、フルート演奏に興味を持つ。未経験ながらも、持ち前の音感とリズム感の良さで国立音楽院の試験に合格すると、短期間のうちに上達していく。個性的なクラスメイト達と切磋琢磨する中で、厳しい現実を目の当たりにしたユージが下した決断とは。

## 『希望の図書館』

リサ クライン ランサム／作 松浦 直美／訳  
ポプラ社(Y913クライ)

1946年、ラングストンは父の仕事の都合でアメリカ南部のアラバマから北部のシカゴに引っ越した。だが、学校では黒人であることを理由にいじめられる。ある日の放課後、ラングストンは誰でも自由に出入りできる図書館を見つけた。図書館で借りた1冊の本をきっかけに、自分の名前にこめられた思いを知ったラングストンは…。



## 新しく仲間入りしたY・A文庫本

### 『小説天空の城ラピュタ 前篇・後篇』

宮崎 駿／原作・絵 亀岡 修／文 徳間書店(PFカメオ)

### 『バスケットの神様』 木崎 菜菜恵／著 集英社 (PFキザキ)

### 『僕とおじいちゃんと魔法の塔 ①～⑥』 香月 日輪／著 角川書店(PFコウズ)

### 『きみへの想いを、エールにのせて』 佐倉 伊織／著 スターツ出版(PFサクラ)

### 『君を一人にしないための歌』 佐藤 青南／著 大和書房(PFサトウ)

### 『灼眼のシャナ』 シリーズ

高橋 弥七郎／著 アスキー・メディアワークス(PFタカハ)

### 『コンビニたそがれ堂 ①～⑨』 村山 早紀／著 ポプラ社(PFムラカ)





福島市小鳥の森は、福島市東部阿武隈川に面する丘陵地に位置する約52ヘクタールの里山です。1983年に、日本初の地方自治体が設置する森林型サンクチュアリ(鳥類の保護地)としてオープンしました。標高60から250メートルの丘陵地には、アカマツ、クリ、コナラなどの木々が立ち並び、昆虫類や小動物が住みやすい環境になっています。春にはカタクリの花が群生地的一面に咲き、福島県鳥のキビタキや福島市鳥のシジュウカラなど、一年を通して数多くの鳥たちを見ることができます。

シジュウカラの小路、ホオジロの小路、カワセミの小路と名付けられている総延長約5.5キロメートルの3つの散策コースは、各所にあづまやと展望台があり、福島市内を見渡すことができます。環境省の「日本の音風景100選」にも選ばれた環境は、小鳥の声を聴きながらの散策に最適な場所です。

また、小鳥の観察や散策以外にも、ネイチャーセンターや炭焼き小屋などで行われる様々なイベントを楽しむことができます。

参考文献:『ふくしま自然散歩』 蜂谷 剛・須賀 紀一／著 歴史春秋出版(K402ハチヤ)

『福島市だけの名所あんない27』 ややま ひろし／著 民報印刷(K291.2ヤヤマ)



## 図書室からのお願い

- ・資料の丁寧なお取り扱いをお願いいたします。次に手に取る人のために、落書き、切り抜き等はおやめください。
- ・ページが破れたり、はずれてしまった場合は、そのままの状態でご返却ください。図書室で修理します。
- ・貸出期限内にご返却ください。

## おはなし会のお知らせ

図書室では、毎月おはなし会を開催しています。

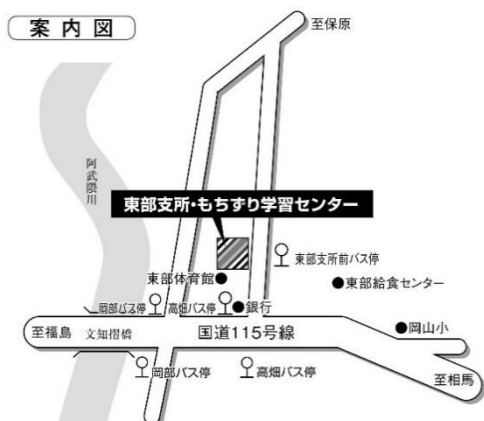
### ★おはなしバスケット

日時 毎月第4土曜日 午後2:00～  
 場所 もちずり学習センター 和室  
 対象 4歳～小学生  
 内容 絵本・紙芝居の読み聞かせや、すばなし、おすすめの本の紹介(ブックトーク)など。

### ★おひざにだっこのおはなし会

日時 毎月第2木曜日 午前10:30～  
 場所 もちずり学習センター 和室  
 対象 3歳までの乳幼児と保護者の方  
 内容 手遊び・わらべうたや、絵本・紙芝居の読み聞かせ、パネルシアター・エプロンシアターなど。

※開催は変更・中止になる場合があります。  
 詳細は、地区だよりやホームページでご確認ください。



もちずりTIMES 第15号 2020年8月 発行

編集・発行:

もちずり学習センター図書室  
 〒960-8204 福島市岡部字高畑 46  
 TEL534-2470



ホームページ URL:

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>

携帯ホームページ URL:

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile/library/>